

2015年12月24日

イオンタウン株式会社

全国から東日本大震災被災地を応援する気持ちをお届けするため
「福島ひまわり里親プロジェクト」へひまわりの種贈呈式を開催

イオンタウン株式会社は、東日本大震災被災地の復興を願う人の輪を広げるため、NPO法人チームふくしまが主催する「福島ひまわり里親プロジェクト」へ参画し、全国各地において、同プロジェクトが「復興のシンボル」として掲げているひまわりの花を栽培して、その種を福島へ贈る活動を行っております。2015年12月23日、各地で育てた「ひまわりの種」と「被災地を応援する」気持ちをお届けする為、イオンタウン須賀川（福島県須賀川市）において贈呈式を開催いたしました。

震災発生から4年が経過し、被災地からイオンへ届く支援ニーズは、時間の経過と共に変化しています。現在では、東日本大震災被害の風化を懸念する「被災地を忘れないで欲しい」という声が多く届くようになりました。私たちは、これまで以上に、全国各地に被災地を支援する人の輪を広げるため、労使一体となり、北海道から沖縄までの当社ショッピングセンター及び協力施設（保育園、幼稚園、授産施設等）や一般家庭においてひまわりの花を栽培し、収穫した種と復興への願いを福島県へお届けする活動を続けてまいります。

全国から福島県へ届けられたひまわりの種は、福島県内にて、新たな観光名所の創出（ひまわり迷路）や雇用促進（授産施設への種発送作業依頼）、環境負荷低減（福島交通バスのバイオエネルギー）にお役立ていただきます。

記

1. 贈呈先について
NPO法人チームふくしま 福島ひまわり里親プロジェクト
2. ひまわりの花栽培場所について

| | | |
|----------------------------|-------|--|
| ① ひまわりの花を栽培したショッピングセンター数 | 30カ所 | |
| ② 協力施設数（幼稚園、保育園、授産施設、一般家庭） | 103カ所 | |
| ひまわりの花栽培場所合計 | 133カ所 | |
3. 栽培ボランティア参画人数

| | | |
|----------------------------------|-------|------|
| ① イオンタウン株式会社従業員 | 述べ | 275名 |
| ② 協力施設（幼稚園、保育園、授産施設、一般施設）における栽培者 | 述べ 1, | 361名 |
| ひまわりの花栽培ボランティア数合計 | 述べ 1, | 636名 |
4. ひまわりの種について

| | | |
|------------------------------|------|------|
| ① 全国で栽培するために福島より購入したひまわりの種数量 | 約 | 300g |
| ② 全国のボランティアが収穫したひまわりの種数量 | 約 1, | 900g |
| ひまわりの種増加数量 | 約 1, | 600g |

ご参考

■ 2015年度、イオングループ内「福島ひまわりプロジェクト」参画企業

企業数：11企業、ボランティア人数：4,883名

<内訳>

| | |
|-----------------------|--------------------------------|
| イオンタウン(株) | 1,636名 (栽培場所数：133カ所、種収穫量：19kg) |
| マックスバリュ中部(株) | 600名 (栽培場所数：35カ所、種収穫量：12kg) |
| イオン北海道(株) | 1,070名 |
| マックスバリュ九州(株) | 500名 |
| イオンリテール(株)南関東カンパニー | 490名 |
| ブランシェス(株) | 235名 |
| イオンリテール(株)北関東・新潟カンパニー | 100名 |
| イオンカルチャー(株) | 100名 |
| イオンエンターテイメント(株) | 73名 |
| イオン琉球(株) | 50名 |
| イオンディライト(株) | 30名 |